



喘息



気管支喘息における抗炎症治療 Symbicortの気道炎症に対する有効性

- POINT 1 喘息治療の現状と課題
- POINT 2 シムビコートの3つの特徴
- POINT 3 シムビコートの気道炎症に対する効果

季節の変わり目になると、喘息患者さんの予定外受診が増えるという印象はありませんか。喘息患者さんを対象にした調査から、気温の変化などをきっかけに喘息症状発現・症状悪化を経験した患者さんは86.2%存在し、その喘息症状発現の最も多い原因は、風邪であったことが報告されました。

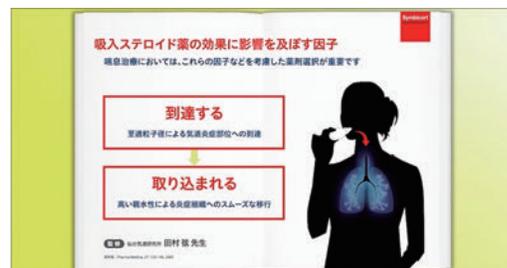
秋から冬へと冷え込みが厳しくなり、寒暖差やウイルス感染などにより喘息が悪化しないよう注意が必要な季節となります。

気管支喘息は気道炎症を本態とした疾患で、見えている症状だけでなく、炎症に目を向けた治療が重要です。抗炎症治療におけるシムビコートの特性と有効性をご紹介します。

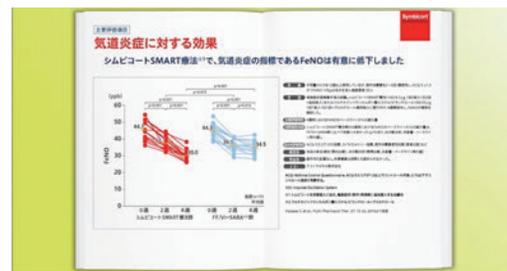
提供:アストラゼネカ株式会社



今回は、気管支喘息における抗炎症治療についてご紹介します。



炎症組織に取り込まれることが重要です。



喘息患者さんを対象にした試験の結果。

注目動画1



THE DIFFERENCE IS Symbicort[®]
budesonide/formoterol

Grasping every opportunity

提供:アストラゼネカ株式会社